

2023年度 ヨーロピアン・スタディーズ EUキャンパスプログラム募集要項

ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラムは、チュービンゲン大学が提供する International and European Studies (以下 IES) 科目 (6 科目) と本学学部が設置する科目 (7 科目) で構成される、本学学生用の教育プログラムです。本学の海外キャンパスであるEUキャンパスでのプログラムとなりますので、その特色を生かし、英語もしくは日本語で学びながら、同時にチュービンゲン大学の多様な国籍の学生との交流を通じ、ドイツやヨーロッパへの理解を深めることを目的としています。

科目名	クラス	単位数	研修期間	担当者	募集人数	費用
チュービンゲン大学提供 IES 科目	1~6	各 2	2023年 9月1日 ~ 2024年 1月下旬 (予定)	チュービンゲン大学教員	約 15 名 ※ (最少催行人員: 10名)	約 45 万円
ヨーロッパの宗教 —ドイツ・キリスト教の歴史と思想 (神学部提供科目)	—	2		村上 みか		
現代哲学(2) —現代ドイツ哲学 (文学部提供科目)	—	2		中村 拓也		
特殊講義 A —市場経済・経済活動と法制度—EU 競争法執行を素材にして・日本との対比— (法学部提供科目)	—	2		瀬領 真悟		
エコノミクス・ワークショップ・プライマリ2 —ベーシックインカム・基本的必要・ジェンダー (経済学部提供科目)	—	2		山森 亮		
政策トピックス —人間心理と政治:社会的プロセスと決断における理性と感情 (政策学部提供科目)	—	2		オフエル・フェルドマン		
体験型教養科目 —デジタルEU・欧州論—文化と社会 (文化情報学部提供科目)	—	2		鄭 躍軍		
スポーツ健康科学特殊講義 S —ドイツのスポーツ文化—ドイツ語とともに— (スポーツ健康科学部提供科目)	—	2		田附 俊一		

- ★ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラムの科目のうち、チュービンゲン大学が提供する IES 科目は単位認定科目となります。現地で全てのクラスを受講する必要があり、最大 12 単位が認定されます。本学学部提供科目は、1 科目以上の登録を必須とし、最大 7 科目まで登録することができます。科目履修・単位の取り扱い等の詳細については、各自、所属学部窓口で確認してください。
- ★費用は 15 名参加した場合の予定金額です(渡航費等は含まれません。詳細は P.11 をご覧ください)。為替やその他プログラム費用等の変動により 5~15 万円前後、金額が変わる可能性があります。なお、上記参加費に対し、別途奨学金が大学から支給されます。

★問合せ先

プログラム全般に関すること	今出川校地 国際センター国際課(扶桑館 1 階) 京田辺校地 国際センター国際課(嗣業館 1 階) 【TEL: 075-251-3260 E-mail: ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp】
科目履修・単位に関すること	各所属学部窓口

★募集説明会

2022年10月4日(火)、10月7日(金) 12:30~13:00

今出川校地:両日程 至誠館2番教室(S2)

京田辺校地:両日程 知真館1号館232番教室(TC1-232)

※10月4日は今出川校地をメイン、10月7日は京田辺校地をメインにし、遠隔配信にて実施します。

★出願資格

■対象:学部学生

※国籍は問いません。

※募集人数に達していない場合は、大学院学生の出願を認めることがあります。

出願にあたっては事前に国際課までご相談ください。

■語学要件:CEFR 英語 B1~B2 レベルを目安とします(P.3 参照)。

★出願受付【時間厳守】

■出願受付期間

WEB 出願:2022年10月28日(金) 9:00:00~2022年11月1日(火) 11:00:00

書類出願:2022年11月8日(火) 9:00:00~2022年11月10日(木) 17:00:00

国際課窓口(今出川または京田辺)へ提出または郵送すること。郵送の場合は、11月10日必着のこと。レターパックや簡易書留など発送記録が残る方法で郵送すること。

※本プログラム専願、2023-24年度同志社大学外国協定大学派遣留学生制度B日程との併願に関わらず、WEB出願および書類出願の両方が必要
(WEB出願に関してはP.12以降のWEB出願マニュアルを必ずご確認ください)

■提出書類

①願 書(所定様式、Web出願時に作成)

②志望理由書(所定様式、Web出願時に作成)

テ ー マ:プログラムへの志望理由について

書 式:日本語2,000字以内(日本語を母語としない学生は、英語(1000words以内)も可)

③誓 約 書(所定様式)

④推 薦 状(所定様式)※提出期日までに余裕をもって、所属学部の専任教員に依頼すること

⑤成績証明書(今年度春学期までの成績が含まれた証明書)

⑥語学能力証明書(所持している場合のみ)

※③④の様式は、国際課のホームページからダウンロードしてください。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/eucampus_program/eucampusprogram_enpg.html

■書類出願提出場所

国際課窓口:今出川校地 扶桑館1階 京田辺校地 嗣業館1階

開室時間 9:00~11:30、12:30~17:00

(郵送の場合)

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社大学 国際センター国際課
ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム 出願書類在中と記載のこと

★選考と結果発表

選考は、英語能力、GPA と面接試験により行います。選考方法（面接試験を含む）と結果発表の日程は以下のとおりです。

【面接の評価項目（評価のポイント）】

- ① 留学の動機
- ② 留学における履修計画と本学における教育課程との整合性
- ③ ドイツ・テュービンゲン（国・地域）の予備知識
- ④ 留学生活への適応力（社会性・積極性など）

■面接試験

実施日時・場所 2022 年 11 月中旬～下旬

※実施日時および方法は、各所属学部にて指定されます。

■選考方法

英語能力測定値（100 点）、GPA 測定値（100 点）、面接評価測定値（100 点）の合計（満点 300 点）で選考を行います。なお、当プログラムは全学部に開かれたプログラムであることから、特定の学部に限らないよう、調整を行うことがあります。

英語能力測定値：提出された外部語学能力試験のスコアを、下記の基準にて英語能力測定値に換算します。

GPA 測定値：60 点を基準点とし、 $20 \times \text{GPA} + 20$ 点で算出します。基準点未満は不合格とします。

面接評価測定値：60 点を基準点とし、基準点未満は不合格とします。

提出された外部語学能力試験のスコア※をもとに、CEFR の基準で評価する。

※WEB 出願提出時において有効期限内のスコアを提出すること（受験日より 2 年以内のもの）。

CEFR C1 以上：100 点

IELTS 7.0 以上／TOEFL ITP 627 以上／TOEFL iBT 95 以上／TOEIC 945 以上／
実用英語技能検定 1 級／ケンブリッジ英語検定 180 以上

CEFR B2：80 点

IELTS 5.5～6.5／TOEFL ITP 543～626／TOEFL iBT 72～94／TOEIC 785～940／
実用英語技能検定 準 1 級／ケンブリッジ英語検定 160～179

CEFR B1：60 点

IELTS 4.0～5.0／TOEFL ITP 460～542／TOEFL iBT 42～71／TOEIC 550～780／
実用英語技能検定 2 級／ケンブリッジ英語検定 140～159

CEFR B1 未満、語学スコア未提出：0 点

※上記以外の英語スコアが提出された場合も、CEFR の基準で評価する。

■所属学部・研究科によるプログラム生の推薦可否の判断

出願者の所属する学部・研究科にて、面接結果、GPA、英語能力等を総合的に判断し、プログラムに参加するための推薦可否について判断いたします。プログラム生としての適性を著しく欠く出願者には、所属の学部・研究科にて「プログラム生として推薦不可」の判断を行います。「プログラム生として推薦不可」と判断された出願者は、この後の選考過程からは除き、不合格とします。

■結果発表：2022年12月22日(木)10:00頃

※Go Global ポートフォリオにて発表する。

★参加費納入

プログラムへの参加が決定した方は、参加費を納入する必要があります。詳細な納入金額と期限は参加決定者へ別途連絡します。

※プログラム費用の高騰を考慮し、納入いただく参加費用には予め数万円の予備費を含んでいます。(差額は帰国後に返金します。)

★合格者オリエンテーション

日時：2023年1月13日(金) 6講時

場所：今出川校地(教室は決定次第連絡いたします)

※参加者への顔合わせの他、今後の続きや科目登録についてご案内いたします。

※5月中旬にも説明会を実施予定です。詳細は、改めて連絡いたします。

★留学前準備(アカデミックイングリッシュ)講座

日時：2023年2月中下旬に5日間程度(連続)を予定

場所：オンラインで実施予定

※プログラム準備のために実施する講座となりますので、必ず参加してください。詳細は、改めて連絡いたします(理由を問わず、不参加の場合でも、受講費用の返金はできません)。

★出発前 危機管理オリエンテーション

日時：2023年7月上旬予定

場所：今出川校地(教室は決定次第連絡いたします)

※プログラム参加者は、上記のオリエンテーションに必ず出席する必要があります。

★奨学金について

「EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金」が設けられております。これはプログラム費用のうち200,000円を奨学金として給付(返還不要)されるものです。詳細は、改めて連絡いたします。

★科目登録について

チュービンゲン大学提供のIES科目は、帰国後に単位認定を申請することになりますので、事前の登録の必要はありません。

本学学部設置科目は少なくとも1科目の登録が必要です。3月上旬に先行科目登録を受け付けますので、詳細は参加が決まった方へ改めてお知らせします。

★出願にあたっての注意事項

- ① キャンセルは、基本的に認めません。参加について十分に考慮し、保証人の方とよく相談した上で出願してください。プログラムに参加することが決定した後にキャンセルをされた場合、参加費全額返金の保証はできません。
- ② 合格者数が最少催行人員に満たなかった場合、プログラムは実施されない可能性があります。参加者決定後、キャンセルにより参加者が最少催行人員を下回り、プログラムの開催が不可能となった場合も同様です。
- ③ プログラム出発前に、外務省の海外安全ホームページにて発表される感染症危険情報および危険情報「レベル 2: 不要不急の渡航は止めてください。」もしくはそれ以上が発出された場合、プログラムが中止となることがあります。その場合、納入いただいたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできないことがあります。ただし、新型コロナウイルス感染症による感染症危険情報レベル 2 以上が発出されている場合は、大学の定める諸条件(新型コロナウイルスワクチン接種など)を満たした場合のみ、渡航を認める可能性があります。詳細は、参加決定後に連絡いたします。なお、プログラム開始後であっても大学長による帰国勧告等が出された場合は帰国しなければなりません。あらかじめご了承ください。
※外務省海外安全ホームページ<<https://www.anzen.mofa.go.jp/masters/risk.html>>
- ④ 渡航先の国・地域の入国制限措置等により、新型コロナウイルスのワクチン接種が義務付けられていることもありますので、各自で情報収集したうえで、留学準備に臨んでください。
- ⑤ 為替レートの変動、スケジュールの変更、参加人数の変更により、参加費用が変わることがあります。事情により金額不足が生じた場合は不足金額分を追加徴収させていただきます。逆に、実費が徴収した参加費用を下回った場合は差額を返金いたします。
- ⑥ 参加が決定した方は、国際課が開催するオリエンテーションや説明会に必ず出席しなければなりません。とくに危機管理オリエンテーションについては出席しない場合、プログラムに参加できなくなる可能性がありますのでご注意ください。その際発生するキャンセル料はご自身で負担していただきます。
- ⑦ プログラム参加期間中の学籍は「在学留学」となるため、本学への学費の納入が必要となります。
- ⑧ 留学開始時の学年によっては、留学期間と就職活動の時期が重複する可能性があります。十分に考慮したうえで出願してください。
- ⑨ 参加にあたっては、参加者が本学に提出する誓約書による誓約事項を厳守いただきます。
- ⑩ プログラムへの参加が決まった方は、健康診断証明書が必要になります。
4月初旬に大学で行っている健康診断を受診しなかった場合は、外部の医療機関等で健康診断を受けていただきます。その際の予約、健康診断証明書の発行はご自身で手配していただくことになります。受診項目については、プログラム参加者へ国際課からお知らせいたします。
- ⑪ EUキャンパスプログラムは全学部にかかれたプログラムであり、定員も限られていることから、できるだけ多くの学生の皆さんにプログラム参加の機会を提供するという観点により、過年度にEUキャンパスプログラムに参加した学生の出願、および2023年度ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラムとの併願はできません。

ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム (チュービンゲン大学)

期間:2023年9月1日(金)~2024年1月下旬(最長)

プログラム定員:約15名

プログラム費用(1名):約45万円

※為替やプログラム費用等の変更により参加費は変動する可能性があります。

※上記参加費に対し、別途、大学から奨学金が支給されます。

※上記に渡航費は含まれていません。詳細は下記をご確認ください。

プログラム紹介

大学の所在地について

チュービンゲンは南ドイツ・バーデン=ヴュルテンベルク州に位置する「大学町」です。約9万人の人口のうち、学生がおよそ3割を占めます。よく「小さくて大きい町」といわれるチュービンゲンは様々な顔を持っています。中心部には中世の街並みが丁寧に復元されている一方、少し郊外に行くと、意欲的なモデルプロジェクトで開発された「フランス地区」などの現代的で活気ある住宅地区があります。町の中にはネッカー川が流れ、小舟による川下りは名物の一つです。バーデン=ヴュルテンベルク州の州都であり、ダイムラーなどの有名企業が本拠を置くシュトゥットガルトは車で1時間で行ける距離にあります。

研修先大学について

チュービンゲン大学は1477年に設立されました。同志社創立者の新島襄もこの大学の水準の高さを認識していました。今日では、大学には7学部、約80の課程があり、リベラル・アーツから、ライフ・サイエンスなどの新しい学問まで、幅広く学ぶことができます。また、マックス・プランク研究所をはじめ著名な研究施設も数多くあり、学問の地として世界的に知られています。大学病院では最先端の医療が試みられています。文系学部は町の中に点在していて、町全体がまさにキャンパスになっています。

1. 科目名・担当教員・単位数・科目区分

科目名・サブタイトル	クラス	担当教員	単位数	科目区分
チュービンゲン大学 IES 科目 —The Political System of the EU and its Politics	1	Jan Battke	2	チュービンゲン大学 IES 科目
チュービンゲン大学 IES 科目 —European Politics of Human Rights	2	Germana Favognano-Bihr	2	チュービンゲン大学 IES 科目
チュービンゲン大学 IES 科目 —Regional Economic Integration -The Case of the EU	3	Cristina Popescu	2	チュービンゲン大学 IES 科目
チュービンゲン大学 IES 科目 —Sustainable Development: History, Concepts, Policies	4	Simon Meisch	2	チュービンゲン大学 IES 科目
チュービンゲン大学 IES 科目 —Religion and the Challenge of European Identity	5	Lucas Ogden	2	チュービンゲン大学 IES 科目
チュービンゲン大学 IES 科目 —未定	6	未定	2	チュービンゲン大学 IES 科目
ヨーロッパの宗教 —ドイツ・キリスト教の歴史と思想	—	村上 みか	2	学部提供科目 (神学部)
現代哲学(2) —現代ドイツ哲学	—	中村 拓也	2	学部提供科目 (文学部)
特殊講義 A —市場経済・経済活動と法制度—EU 競争法執行を素材にして・日本との対比—	—	瀬領 真悟	2	学部提供科目 (法学部)

エコノミクス・ワークショップ・プライマリ 2 ーベーシックインカム・基本的必要・ジェンダー	—	山森 亮	2	学部提供科目 (経済学部)
政策トピックス ー人間心理と政治:社会的プロセスと決断における理性と感情	—	オフェル・ フェルドマン	2	学部提供科目 (政策学部)
体験型教養科目 ーデジタルEU・欧州論ー文化と社会	—	鄭 躍軍	2	学部提供科目 (文化情報学部)
スポーツ健康科学特殊講義 S ードイツのスポーツ文化ードイツ語とともにー	—	田附 俊一	2	学部提供科目 (スポーツ健康科学部)

※上記科目はすべて秋学期科目

※チュービンゲン大学提供の IES 科目は「チュービンゲン大学 IES 科目」または学部が指定する科目に単位認定されます。

※科目・単位の取扱い詳細については所属学部窓口にお問い合わせください。

2. 日程・スケジュール

2023 年 9 月 1 日 (金) ~ 2024 年 1 月下旬 (最長)

※現地での履修が必須であるチュービンゲン大学提供の IES 科目は 12 月中旬で終了するため、12 月中旬以降の学部提供科目を登録していない学生は、12 月中旬でプログラム終了となります。

※2022 年 9 月時点の予定の為、日程は今後変更される可能性があります。

3. 科目概要

チュービンゲン大学 IES 科目—The Political System of the EU and its Politics (英語)

<概要>

In the aftermath of the Second World War, for the first time in European history, former enemies created a political union in order to coordinate their economic and political activities. Among them was Germany, the nation responsible for the unparalleled destruction that the war brought to the Old Continent and beyond (again), and the nation whose people planned and carried out the worst crime and horror the world has ever seen: The Holocaust.

Over the past decades, what is today known as the European Union (EU) gradually led to the emergence of a supranational political system with Germany as one of its core members. Although today the European Union still is not a “real” state, it is not only made up of 28 (27) sovereign European nations but also of the EU’s very own institutions, such as the European Commission, the European Parliament (EP), and the European Court of Justice, which all possess unique powers to shape the lives of more than 500 million citizens in Europe every day.

This course will introduce students to the history and the political system of the EU – its institutional set up and how it works in general. Furthermore, classes will discuss the significant role Germany has played and plays in Europe and how Germany’s path through the second half of the 20th century, from a nation divided to a reunified country, shaped not only the legacy of a nation but that of an entire continent. Current issues and challenges – including Russia’s war against Ukraine, Brexit, migration, and right-wing populism – regarding both Germany and the EU, will be covered as well.

チュービンゲン大学 IES 科目 —European Politics of Human Rights (英語)

<概要>

The supranational political system of the European Union today has the power to influence the protection of human rights all over the world. This course will introduce students into the theory and implementation of human rights and to EU politics to assess and protect them by significant executive and legislative powers.

This course offers a great insight into comparative European Studies by focusing on human rights as a connecting principle between all countries and peoples around the world. The first part of the course will focus on the origin and history of human rights and will offer an overview on the most important international and European institutions and laws. After a short introduction to the political system of the European Union, the second part of the course will focus on real cases of human rights abuses occurring in EU countries. The students will be confronted with authentic problems and will discuss and analyze in class the problems occurring when trying to defend basic rights. Successful integration of different cultures will also be a topic of discussion.

チュービンゲン大学 IES 科目 —Regional Economic Integration -The Case of the EU (英語)

<概要>

As globalization and free trade agreements open economies and make them interdependent, the importance of international trade increases. Globalization has influenced many aspects of multinational companies, from type of product offerings, to production in low cost countries. Trade has also had an impact on multinational companies. Although the World Trade Organization tries to facilitate free trade, companies find it difficult to benefit from free trade under the World Trade Organization's process due to its lengthy processes. This situation has pushed regional economic integration to the forefront. After a brief introduction into the topic of international business, students will learn about trade and trade restriction mechanisms. Afterwards, a focus will be put on regional economic integration, with the European Union as the example of the highest level of integration. The student group will benefit from its multinational composition by providing different perspectives and apply the theoretical concepts in interactive exercises such as group work or case studies.

テュービンゲン大学 IES 科目 —Sustainable Development: History, Concepts, Policies (英語)

<概要>

In 1987, the United Nations (UN) World Commission on Environment and Development (WCED) (known as the Brundtland Commission) introduced sustainable development as a global vision. It famously defined sustainable development as a "development that meets the needs of the present without compromising the ability of future generations to meet their own needs". Since the UN Conference on Environment and Development (UNCED) (or the Rio Summit) in 1992, all levels of government and most sectors in Germany adopted sustainability goals. Sustainable development was even introduced as a national goal in the German constitution. Meanwhile, it has evolved globally as a guiding principle and policy goal culminating in the UN Sustainable Development Goals (SDGs).

This course consists of three blocks. The first block deals with the conceptual origins and development of sustainable development: How did the WCED and the famous Brundtland definition come about? How did the global vision of sustainability develop since then up to the adoption of SDGs? The second block addresses ethical foundations of sustainable development: Why ought we to act in the spirit of sustainable development? What are contentious issues? Finally, the third block focusses at specific sustainability (with the example of chocolate), nature protection & biodiversity, and climate.

テュービンゲン大学 IES 科目 —Religion and the Challenge of European Identity (英語)

<概要>

To what extent does religion contribute to shaping people's identity and or/divide them in Europe today? Religion has played an important role in the development of European culture and identity, as evidenced by impressive church buildings as well as by religious themes in classical European art and music. The traditional concept of a "Christian" Europe has been both challenged and enriched by Islam and Judaism as well as by substantial criticism of the established churches. Today, the considerable drop in religious observance and belief has led many Europeans to embrace a "post-Christian" identity, while the presence of immigrant communities is making the continent more multi-cultural. Nevertheless, Christian churches continue to be officially supported by several European states, and movements encouraging a re-vitalization of religion have gained attention. In this course, we will address key questions and problems concerning religion in Europe and will also engage in critical analyses of art and music.

ヨーロッパの宗教 —ドイツ・キリスト教の歴史と思想 (日本語)

<概要>

ドイツは長いキリスト教の伝統をもち、人々の生活や思考のなかにもキリスト教的なものが入り込んでいる。この講義ではドイツの歴史に大きな影響を与えたキリスト教について学ぶ。ドイツでキリスト教がどのように受け入れられ、どのような展開を遂げたのか、中世から現代にいたる歴史と思想を取り上げる。たとえば世界史に大きな影響を与えたルターや宗教改革の出来事、J.S.バッハの優れた宗教音楽、さらには 20 世紀のナチズムとの関係など、文化や政治に関わるものも取り上げる予定である。これらの歴史の足跡は今日なお町の中に残されている。中世に建てられた教会を訪れ、教会音楽に耳を傾けるなど、現地ならではの学びも計画している。

現代哲学(2) —現代ドイツ哲学 (日本語)

<概要>

この講義は、ドイツ現代哲学の根本特徴の解明を課題とする。そのため 20 世紀以降のドイツ哲学の主潮流をなす哲学者たちの主要学説が主な考察の対象となる。その際 20 世紀以降のドイツ哲学の先駆となり「ドイツ」哲学のもつ「ドイツ的」伝統を構成する要素を規定した哲学者としてカントもまた全体の背景をなす重要な哲学者として取り上げられることになる。

したがって、本講義は、哲学者としては、カント、フッサール、ハイデガー、ガダマー、ハーバマスを主題として取り上げる。また、哲学的立場としては、ドイツ哲学の根底を形成する超越論哲学の性格特性を解明したうえで、超越論哲学の継承・発展・批判として現象学、存在論、解釈学、批判理論を取り上げる。

特殊講義 A —市場経済・経済活動と法制度—EU 競争法執行を素材にして・日本との対比—（日本語）

<概要>

本講義では EU の各種法制度のうち経済活動に関する面について、とりわけ競争政策・競争法(Competition Policy and Law)から光を当てて EU の活動の実態の理解を促すことを狙いとす。

現在 EU は政治・経済・社会の様々な面で加盟国全域を覆う活動を、加盟国の自立性を維持しながら行っている。このうち経済活動とりわけ競争政策・競争法に関する分野と法 (EU Competition Law) は、EU はもちろんその前身である EEC 発足当初から、欧州統合を駆動させる理念であり EU の求心力である「欧州市場(経済)統合」の推進力となるものである。以下の内容について講義を行う予定である。

第 1 に、EU 競争法が基盤とする EU の法制度の特徴的な側面を説明する。EU 法制度は EU の統合の拡大進化とともに変化もしており、その点にも留意しながら講義を行う。

第 2 に、EU 競争法の中でも「欧州市場(経済)統合」との関係で重要・特徴的な制度やケースを検討する。

第 3 に、近年のオンライン取引の拡大、IT 産業やデジタルプラットフォーム企業の興隆等により、EU においても「欧州市場(経済)統合」はもちろん個人の権利・プライバシーに関連した問題がクローズアップされている。グーグル、メタ、アップル、Amazon 等の活動に関わるものであり、関連する EU 競争法の展開を解説する。

第 4 に、これらの EU 競争法の特徴的な構造や展開を日本の同様な法制度を対比して日欧の法制度の相違をもたらす理由等について検討する。

エコノミクス・ワークショップ・プライマリ 2 —ベーシックインカム・基本的必要・ジェンダー—（日本語）

<概要>

この授業では、近年ドイツ語圏で注目が高まっているベーシックインカム(Basic Income, Grundeinkommen)について、基本的必要やジェンダーといった補助線を引きながら、一緒に考えていきます。授業のなかでいくつかの質問を用意します。たとえば「あなたにとって基本的な必要のリストに含まれるものは何ですか」、「あなたにとって労働と労働でない活動を分けるものは何ですか」、「お金のために働く必要がなくなったら、何をしますか」など。これらの質問について、受講生には、授業の中でグループワークをしてもらったり、授業時間外に街でインタビュー調査をして、その結果を授業で報告してもらう予定です。テキスト以外に授業で使用する資料の言語は、主に英語を予定しています。

政策トピックス —人間心理と政治:社会的プロセスと決断における理性と感情—（英語）

<概要>

The purpose of this course is to introduce students to historical and contemporary perspectives of political psychology and behavior, emphasizing the cross-cultural (e.g., European, Japanese) and cross-national (e.g., Germany, Japan, UK, France) context.

As an interdisciplinary discipline linking political science and psychology, which brings together psychological understandings to political questions, a thorough understanding of political psychology necessitates theoretical and methodological diversity.

Simultaneously, this course will also detail issues related to political attitudes and public opinion, leadership function, and socialization process and effect.

The course will begin with an overview of the field of political psychology and the ways that questions within political psychology have been studied.

That is, rather than examining what happened in politics, or how it happened, we can examine why it happened by looking at the psychology of individuals.

For example: What motivate individuals to take part in political activity? Or, what cause people to make decisions and form attitudes?

Answering such questions allow us to explain phenomena as political leadership, media's role and effect, and political aggression and violence, racism and discrimination.

Because much of the early work on political psychology (which were born in Europe) focused on personality, we will start by considering how enduring traits shape behavior.

We will then consider the role and effect of social context (e.g., culture, socialization) and how context help to explain individuals' participation in some of the most horrific acts committed in the 20th and 21st centuries (e.g., Germany, Russia).

The course will also detail the structure of political attitudes, examining when, and under what conditions, individuals adjust their political beliefs and social identities; the role of identities in the domain of group conflict; racial attitudes and terrorism; national identification and patriotism; and media and personal communication processes and their outcome.

Students will leave the course with a thorough understanding of political behavior and opinions, their origin, and their effects on everyday life in the modern state.

体験型教養科目 —デジタルEU・欧州論—文化と社会（日本語）

<概要>

欧州は、何百年もの間、幾度となく戦争の悲劇に見舞われてきた。特に、近代には対立の中心がフランスとドイツであった。1950年超国家的な欧州の機構の創設を提唱した「シューマン宣言」をきっかけに、1952年に設立した欧州石炭鉄鋼共同体（ECSC）は現在のEUの出発点であった。本講義では、欧州諸国を俯瞰すると同時に、27ヶ国加盟、4億人を越えた地域統合であるEUの歩みを顧み、各国・各地域の多様な歴史、文化、社会構造などを越えたEUの沿革と現状について各種統計データに基づく可視化により解説する。特にEUとは何か、EUはどのようにして発展してきたか、EUはどのような社会的意味をもつかといった課題について講義する。

スポーツ健康科学特殊講義 S —ドイツのスポーツ文化—ドイツ語とともに—（日本語）

<概要>

本講義では、ドイツの文化としてのスポーツを、その背景にある歴史や社会の仕組みなどと関連付けて、ドイツ語も用い学習する。学習する主なテーマは以下の通りである。

1. 地域に密着した Sportverein（地域総合型スポーツクラブ）
2. Urlaub（年に2回、それぞれ2週間程度取得できる休暇）とスポーツ
3. 「できるだけ教えない」理念の Ballschule（ボールゲーム）の始まりと発展
4. さまざまな Bewegungserziehung（運動を介した教育）
 - 1) からだを使って各教科を学ぶ Bewegte Schule（動きのある学校）
 - 2) Bewegungskindergarten（運動や遊びを介した幼稚園教育）
 - 3) Psychomotorik（運動機能、言語、知覚・認知能力、社会性などの促進を意図した運動プログラム）

上記の2)は移民や難民の受入、2)と3)は発達障がい児童・生徒の能力促進にも関わっている。

可能であれば、Sportverein（地域総合型スポーツクラブ）の活動に参加、Ballschule（ボールゲーム）の実習も行いたい。なお、学習にあたり、ドイツ語能力を問いません。

※科目名、担当者、科目内容は変更される可能性があります。

4. 科目登録・単位

- ・チュービンゲン大学提供のIES科目は、全ての科目の受講が必須です。現地で修得した単位は、帰国後に同志社大学の単位として単位認定の申請を行うことから、事前の登録は不要です。どの科目に認定されるかは、所属学部によって異なります。
- ・本学の学部提供科目は、少なくとも1科目（2単位）の登録が必要です。3月上旬に先行登録の受付を行います。

5. 宿泊先

大学寮（チュービンゲン大学からバスで約15分）

6. 食事

無（参加費用に含まれない）

7. 同行員

同志社大学の教職員や添乗員は同行しません。**現地集合、現地解散**となります。

※チュービンゲン大学内の同志社EUキャンパスに同志社大学の職員が駐在しています。

8. 参加費用

●含まれるもの

プログラム費

※プログラム費には、寮費（敷金含む）、ドイツの医療保険料、留学前準備講座費用、事務諸経費等が含まれます。現地学費は、同志社大学が負担します。

※寮の敷金として600ユーロ（約85,000円）を納めていただきます。修繕などの必要がなければ、帰国後返還されます。

●含まれないもの

※上記のほかは含まれません。参考のためにその一部を例示します。

往復航空券(ご自身で手配いただきます)／航空保険料・燃油費／日本・現地空港諸税／海外旅行保険料(日本)／超過手荷物料金／日本国内での移動にかかる交通費／現地バスの定期代(約130€)／チュービンゲン大学への Semester 登録費用(約90€)、ドイツ滞在許可申請費用(約100€)／食費／現地フィールドワークにおける食費・お土産代など／その他個人的生活費用

9. 航空券

当プログラムは、科目の登録状況によって帰国日が異なることから**現地集合・現地解散とし、現地への渡航及び現地からの帰国の航空券は各自で手配**をいただくことになります(各自、最終授業日から1週間以内に帰国)。渡航においては、2023年9月1日(金)午前開始予定のオリエンテーションに参加できるスケジュールで手配をしてください。

10. 費用の支払い

参加決定者に詳細を連絡しますので、指定された期日までに納入してください。

11. 査証

日本や EU 加盟国の国籍を有する人は、ビザなしでドイツに入国した後に、長期滞在許可を申請します。上記以外の国籍の方は、日本で事前にビザを申請しなければならない可能性があります。

12. オリエンテーション

合格者オリエンテーション(2023年1月13日)の他、5月中旬に説明会を実施予定です。また、出発前に行われる危機管理オリエンテーション(2023年7月上旬実施予定)への参加も必須となります。

13. その他

プログラム参加中の学籍は「在学留学」となります。参加者の所属学部で、書類提出等の手続きが必要となりますので、詳細は参加が決まった方へ改めてお知らせします。

以上

WEB 出願マニュアル

WEB 出願へのアクセス方法

「Go Global」ポートフォリオシステムへログイン

(<https://sso.doshisha.ac.jp/cgi-bin/portal.cgi>にアクセス)

※スマートフォンでは、正しく動作しないため、必ずPCで出願すること。



ID・パスワードを入力後
Go Global Portfolio を
クリック



【出願前】「WEB 出願」に移動(下図の○をクリック)



【出願前】「WEB 出願」(下図の○をクリック) (プログラム概要や協定校の情報もリンクから参照可)



【出願後】「WEB 出願」を完了する（下図の○をクリック）

Web出願 出願内容確認ページ

manaba ID:

氏名:



確認用 願書PDFダウンロード

※ まだWEB出願は済んでいません

※ 出願後は修正ができません

内容を修正

出願する



Web出願 出願後のページ

manaba ID:

氏名:

<<注意事項>>

- * Web出願は完了しました。出願を完了するには、書類提出が必要です。
- * 願書PDFをダウンロードし、書類提出期間にその他の書類と一緒に国際課へ提出してください。書類提出については募集要項（特に書類提出について記載されたページ）を熟読し、指示のとおり行ってください。
- * 願書PDFはGo Global ポートフォリオのコレクションにも保存されています。
- * WEB出願の入力内容に修正がある場合は国際課に連絡してください。
- * 窓口提出の出願書類は全てA 4 サイズ・片面印刷に揃えてください。ホッチキス止めは禁止です。
- * 今後の選考日程について、必ず国際課HPを確認してください。
- * WEB出願時に入力したe-mailアドレス（大学・個人）に連絡をしますので必ず定期的にメールボックスを確認してください。



願書PDFダウンロード

!!すべての資料は片面印刷の上、提出!!

閉じる

提出した最新版のWEB 出願の願書内容の確認方法

WEB 出願後や書類出願後、出願内容等に変更があり最新版の願書の確認が必要な場合、下記の手順で確認すること。

“Go Global” ポートフォリオホーム画面よりマイポートフォリオへ移動（下図の○をクリック）



派遣留学（大学間）コレクションタイトルより最新版の願書を確認（下図の○をクリック）



★WEB 出願にあたっての注意事項

以下の注意事項を十分に確認したうえで出願してください。2023-24 年度同志社大学外国協定大学派遣留学制度 B 日程との併願も可能です。ここではヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム専願時の入力に関する注意事項を中心に記載しています。

- ① 出願は「WEB 出願」と「書類提出」の両方を行うことで完了します。どちらか一方のみでは出願と認められません。
- ② WEB 出願から出願先協定校名「テュービンゲン大学 (ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム)」を選択してください (併願の場合は任意の希望順位で選択してください)。

出願情報 auto fill

GPA

累積GPA

第1希望

KCJS加盟校へ出願する

出願先協定校名

大学院課程に出願を希望する (出発時に大学院に在籍する場合のみ) Yes

希望する留学期間 第1希望 1 セメスター 2020.9 - 2021.1

出願先協定校名 (ドロップダウンメニュー):

- サンシャイン・コースト大学
- シドニー大学
- メルボルン大学
- チリ・カトリカ大学
- テュービンゲン大学
- テュービンゲン大学(ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム)**
- ウェリントン・ビクトリア大学
- ソウル大学
- ソウル女子大学
- ソウル市立大学
- 仁川大学
- 全南大学
- 嶺南大学
- 延世大学

- ③ 提出するスコア (有効期限内のもの) 欄には TOEFL ITP、TOEFL iBT、IELTS の語学スコアを入力してください。英検、TOEIC 等で出願する場合、提出するスコアのドロップダウンメニューから「その他 (EUキャンパスプログラム出願者のみ)」を選択してください (下図参照)。

出願情報 auto fill

GPA

累積GPA 2.98 / 4.00

第1希望

KCJS加盟校へ出願する いいえ

出願先協定校名 テュービンゲン大学(ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム)

大学院課程に出願を希望する (出発時に大学院に在籍する場合のみ) Yes

希望する留学期間 第1希望 1 セメスター 2021.9 - 2022.1

希望する留学期間 第2希望 (ある場合のみ入力) 選択してください

出願言語 英語

提出するスコア (有効期限内のもの) 選択してください

TOEFL ITP スコア

選択してください

- 選択してください
- TOEFL ITP
- TOEFL iBT
- IELTS
- その他 (EUキャンパスプログラム出願者のみ)**

Written Expression

Reading Comprehension

- ④ 出力した願書に 所持している語学スコアを手書きで記入してください。(下図参照)。

2021-2022 年度 外国協定大学派遣留学生制度/ EU キャンパスプログラム 願書	
出願情報	
第 1 希望	大学名: テュービンゲン大学(ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム) (ドイツ)
	希望する留学期間 1 セメスター 2021.9 - 2022.1
	出願言語: 英語
	語学スコア: その他 (EUキャンパスプログラム出願者のみ) 英検2級
受験日:	

- ⑤ WEB 出願が完了したら書類出願期間中(11月8日~11月10日)に、WEB 出願からダウンロードした願書および志望理由書ならびに成績証明書、語学能力証明書がある場合は語学能力証明書、国際課ホームページからダウンロードした誓約書、推薦状(併願の場合は他の留学希望大学への出願書類と同封し)を国際課窓口に提出、またはご郵送ください。郵送の場合は11月10日必着とし、レターパックや簡易書留など発送記録が残る方法で、学生証のコピーを同封のうえ送付してください。